

## 企業（会社）を作ってみよう —金融機関の動きに留意して—

(総授業時数：8時間)

### 実施学年、教科等

第3学年 社会科（公民的分野）

### 単元の目標

- (1) 企業の生産活動などに対する関心を高め、企業の経済活動に関する諸問題や金融の動きなどに興味をもち意欲的に追究することができるようにする。
- (2) 企業には、市場において公正な経済活動を行い、消費者、株主や従業員の利益を増進させる役割があることや企業の経済活動が及ぼす社会的影響に対して公共の利益に配慮する社会的責任があること、金融の動きについて考え、多面的・多角的に考察することができるようにする。
- (3) 企業の生産活動や金融の動きなどに関する資料を様々な情報手段を活用して収集し、収集した資料の中から、経済活動の意義や市場経済の基本的な考え方などについての学習に役立つ情報を適切に選択し、活用することができるようにする。
- (4) 家計の貯蓄などが企業の生産活動や生活の資金として円滑に循環するために、金融機関が仲立ちしているという金融の動きをとらえることができるようにする。
- (5) 人間に役立つ商品やサービスを作り出す生産が、企業を中心に行われていることや家計の貯蓄などを企業の生産活動や生活の資金として円滑に循環させるため、金融機関が仲立ちしていることなどを理解し、その知識を身に付けることができるようにする。

### 学習の評価

- (1) 企業の経済活動や金融の動きなどに興味・関心をもち意欲的に追究している。(インタビュー結果記録カード)
- (2) 企業の役割や社会的責任、金融の動きについて、多面的・多角的に考え、考察している。  
(会社設立計画書・ポスターセッション)
- (3) 企業の生産活動や金融の動きなどに関する様々な資料を収集し、選択し、活用している。  
(会社設立計画書・ポスターセッション)
- (4) 家計・企業などを資金が円滑に循環するための金融の動きをとらえている。(模擬投資予定記入用プリント)
- (5) 企業などの生産活動や金融の果たす役割などを理解し、その知識を身に付けている。  
(会社設立計画書・ポスターセッション)

### 展開の特色

- (1) 模擬的な企業作りを通して、企業の役割や社会的責任をとらえさせる。
- (2) 金融の動きについても着目させる。
- (3) 求人広告作りを通して、勤労の権利、義務や労働組合の意義などについて考えさせる。
- (4) 投資家の視点からも経済活動の意義や市場経済の基本的な考え方をとらえさせる。

### 「学校における金融教育の年齢層別目標」の該当項目

\*記号については、P.32～45を参照。

Aーイ、Bーア・イ・ウ・エ、Cーア、Dーア・イ・ウ

### 学習内容のキーワード

企業、利益、社会的責任、資金、直接金融・間接金融、家計、貯蓄、勤労、投資家

1 金融教育のねらいと基本的性格

2 金融教育の目標と方法

3 金融教育を支援する関係機関等の活動

4 金融教育の指導計画の作成と実施に際して

5 小学校における金融教育

6 中学校における金融教育

7 高等学校における金融教育

資料

## ● 指導計画

時数	ねらい	学習内容・学習活動	◆金融教育の視点	★指導上の留意点	その他(資料等)
事前	・企業(会社)へのインタビューに興味をもち意欲的に調査する。	●会社へのインタビューを行う。		★保護者等身近な人にインタビューさせる。	・会社へのインタビューカード
1	・企業の生産活動などに対する関心を高め、企業の経済活動に関する諸問題や金融の働きなどに興味をもち意欲的に追究する。	●会社へのインタビューを踏まえ、作ってみたい会社の構想を考えるため、班ごとにインタビュー結果の紹介を行う。	◆インタビューした企業の資金調達方法を考えさせる(直接金融、間接金融)。	★インタビュー結果を分かりやすく説明させる。 ★企業(会社)の生産活動などに対する関心を高めさせる。	・インタビュー結果記録シート
2	・企業には、市場において公正な経済活動を行い、消費者、株主や従業員の利益を増進させる役割があることなどについて、多面的・多角的に考察する。 ・企業の経済活動が及ぼす社会的影響に対して公共の利益に配慮する社会的責任があることや従業員の利益を増進させる役割があること、金融の働きについて考え、多面的・多角的に考察する。	●あらためて「会社とは」何かについて確認し、会社の社会における役割を考える。 ●会社設立のグループ作りを行う。 ●会社に必要なもの考える。 ・資本、労働者、会社所在地、市場などをとらえる。		★実際の企業(テレビCMをしている企業等)のHPなどを参考にさせる。 ★企業活動の目的として利益(利潤)を得ることがあることに着目させる。	・企業(会社)が起こした事故に関する新聞等の時事的な資料 ・ユニバーサルデザインの商品などを例示する。 ・企業(会社)のHP
3		●会社の設立計画書を作成する。 会社名・キャッチフレーズ(モットー)・資本金(資金調達方法も含めて)・会社の拠点(所在地) etc.	◆企業の資金調達の方法の一つとして、株式の発行(直接金融の一つ)があることに気付かせる。	★生徒の保護者などが勤務する会社の案内などを持参させるなどの工夫を行う。 ★株式会社の仕組みについて触れる。	・会社設立計画書 ・会社案内パンフレット ・株式会社の仕組みプリント
4		・働くことの意義をとらえる。 ・労働時間や賃金など労働環境について考える。 ●設立したい会社の求人広告を作成する。 ●労働者の立場に立って労働条件を考える。	◆金融の働き、日本銀行の役割をとらえさせる。	★自分が働きたい会社の求人広告を作成させる。 ★「銀行の銀行」等の役割のある日本銀行の役割をとらえさせる。	・会社の求人広告用紙(給与、勤務地、勤務時間、職種 etc.)
5 本時	・企業の生産活動などに関する資料を様々な情報手段を活用して収集し、収集した資料の中から、学習に役立つ情報を適切に選択し、活用している。 ・人間に役立つ商品やサービスを作り出す生産が、企業を中心に行われていることを理解し、その知識を身に付ける。 ・家計の貯蓄などを企業の生産活動や生活の資金として円滑に循環させるためなどの金融機関の役割を理解し、その知識を身に付ける。	●設立したい会社の資金調達のためと社員の募集のため、会社の説明会を行う。 ●ポスターセッション(屋台村方式)で会社説明会を行う。	◆企業の資金調達方法の一つに銀行からの借り入れ(間接金融の一つ)もあることに配慮させる。	★設立したい会社の説明を分かりやすく行わせ、どの企業(会社)に投資することが望ましいのかについて自分で判断させる。	・ポスターセッション(屋台村方式)のやり方プリント ・会社説明用紙
6		●望ましい会社への投資を模擬的に行い、その投資行動の妥当性を評価し合う。 ●投資結果を発表する。 ●社員の応募結果を発表する。	◆投資家も資金調達の方法の一つとして、金融機関を利用していることに触れる。	★自分が考え、良いと思った会社、投資額が多かった会社を比較させ、意見を述べさせる。	・投資家の投資予定用プリント ・会社評価表
7		●もう一度会社説明会を行い、外部講師の方に評価してもらう。 ●企業(会社)の役割や社会的責任について考える。(雇用の確保、環境対策、メセナ etc.)	◆金融機関や投資家の信用に足る企業の方針かどうか考えさせる。	★会社の経営者の方などに講師になってもらい評価してもらう。	・会社説明用紙 ・外部講師とのワークショップ記録用紙

1 金融教育のねらいと基本的性格  
2 金融教育の目標と方法  
3 金融教育を支援する関係機関等の活動  
4 金融教育の指導計画の作成と実施に向けて  
5 小学校における金融教育  
6 中学校における金融教育  
7 高等学校における金融教育

1 金融教育のねらいと基本的性格  
2 金融教育の目標と方法  
3 金融教育を支援する関係機関等の活動  
4 金融教育の指導計画の作成と実施に向けて  
5 小学校における金融教育  
6 中学校における金融教育  
7 高等学校における金融教育

## ●指導計画

時数	ねらい	学習内容・学習活動	◆金融教育の視点	★指導上の留意点	その他(資料等)
8	<ul style="list-style-type: none"> <li>金融の働きについて考え、多面的・多角的に考察する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●会社をめぐる課題について考える。(労働市場、男女雇用機会均等法、労働組合 etc.)</li> <li>●金融の働きについて理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆金融機関の役割などを理解させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>★企業と金融機関の役割の再確認や労働者の権利について確認させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・金融の働きまとめプリント</li> <li>・労働基準法の内容プリント(男女同一賃金 etc.)</li> </ul>

### 本時の目標

- ア：自らの創意工夫を生かし、市場の動きや消費者の購買力等を考慮し、望ましい会社を考えることができるようにする。
- イ：会社(企業)の仕組みやその役割、社会的責任を理解することができるようにする。
- ウ：市場経済の仕組みについて理解することができるようにする。

## ●本時の展開

	学習内容	学習活動	◆金融教育の視点	★指導上の留意点	その他(資料等)
導入	<ul style="list-style-type: none"> <li>・企業の役割や社会的責任について興味・関心をもつ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●会社説明会の準備をする。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>★ポスターセッション(屋台村方式)のやり方で、机や椅子を移動させ、会社説明用紙を貼らせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ポスターセッション(屋台村方式)のやり方プリント</li> </ul>
展開	<ul style="list-style-type: none"> <li>・企業の役割や社会的責任について理解している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●会社説明会をポスターセッション(屋台村方式)で行う。 *6つのグループに分かれて説明をする。</li> <li>●投資家向けの場合と社員募集のための2回、説明会を行う。 1班5分=(2分×2回+1分(移動)) 5分×5回=25分</li> <li>●店番を2人で行う。</li> <li>●会社経営者の立場で自分の会社の優位性を主張する。</li> <li>●会社名、会社のキャッチフレーズなどを強調し、特に、社会にとっての有用性をアピールする。</li> <li>●投資家の立場でどの会社が優れているかを考える。その際、会社の将来性、収益性、社会貢献度、コンプライアンス(法令遵守)、地域社会への貢献度、環境配慮度などを基準に評価する。</li> <li>●求人広告について労働者の立場から、働きたい会社を評価する。その際、労働時間、休日、給料等の労働条件、労働環境などを考慮する。</li> <li>●企業の資金調達方法について考える。その際、銀行などの金融機関に着目する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆企業の資金調達方法の一つに銀行からの借入れがあることに配慮させる。</li> <li>◆投資家の立場から会社の収益性、社会への貢献度等に配慮させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>★教師が司会、計時係を行う。(初めと終わりの合図を送る。)(ストップウォッチを持って計測する。)</li> <li>★設立したい会社の説明を分かりやすく行わせる。その際、会社名、会社のキャッチフレーズなどを強調させる。</li> <li>★投資家の立場から会社の目的、資金、収益性、社会への貢献度等に配慮させる。</li> <li>★労働者の立場で働きたい会社、望ましい求人広告を見つけさせる。</li> <li>★企業の資金調達方法の一つに銀行からの借入れがあることに配慮させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会社説明用紙(紙芝居の要領で、用紙の裏に、あらかじめ説明の語句を貼らせておく。)</li> <li>・投資家の投資予定用プリント(会社の将来性、収益性、社会貢献度、地域社会への貢献度、環境配慮度など)</li> <li>・応募会社のメモ表</li> <li>・会社評価表(自己評価結果、他者評価結果)</li> </ul>
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市場経済の基本的な考え方をとらえる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●市場や消費者、株主、従業員などへの企業の役割や公共の利益への配慮、法令遵守などルールを守ることや雇用の確保などの社会的責任について考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆投資額が多かった会社の理由をとらえさせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>★自分が考えた会社、良いと思った会社、投資額が多かった会社を比較させ、意見を述べさせる。</li> </ul>	



1 金融教育のねらいと基本的性格

2 金融教育の目標と方法

3 金融教育を支援する関係機関等の活動

4 金融教育の指導計画の作成と実施に向けて

5 小学校における金融教育

6 中学校における金融教育

7 高等学校における金融教育

資料

1 金融教育のねらいと基本的性格

2 金融教育の目標と方法

3 金融教育を支援する関係機関等の活動

4 金融教育の指導計画の作成と実施に向けて

5 小学校における金融教育

6 中学校における金融教育

7 高等学校における金融教育

資料

●教材・資料等 (授業で用いる教材や資料、ワークシート等)

(1) 資料

企業 (会社) に関するインタビュープリント、企業 (会社) 計画書等

(2) 留意点

企業の社会的責任について、以下の点から考慮させる。

- ▽ 人間に役立つ商品やサービスの創造
- ▽ 市場における公正な経済活動の行使
- ▽ 消費者、株主や従業員の利益の増進
- ▽ 企業の経済活動が及ぼす社会的影響への配慮
- ▽ 公共の利益の増進への配慮
- ▽ コンプライアンス (法令遵守) への配慮
- ▽ 企業の将来性
- ▽ 企業の地域への貢献
- ▽ 環境への配慮

(3) ワークシート

< 1 > 企業 (会社) に関するインタビュー

## 企業 (会社) に関するインタビュー

3年 組 番 氏名 (インタビューした人: )

1 その会社の目的や仕事内容は？
2 会社の経営に必要なものは何？
3 社会にどんなものを提供しているのか？
4 自分が設立してみたい会社は？ 会社名は：
仕事内容は：
会社のキャッチフレーズ (その会社のイメージが湧くような短い言葉)：

< 2 > 企業作り計画書

## 企業作り計画書

グループメンバー (代表: )  
3年 組 番 氏名

1 事業内容など			
会社名：			
業種：	取扱品・サービスの内容：		
(1) 企業作りの目的や動機			
(2) キャッチフレーズ (モットー) & セールスポイント			
2 必要な資金と調達の方法			
必要な資金	金額		
調達の方法	金額		
(1) 店舗、工場など (内訳)	( ) 万円	(4) 借入金 (内訳、返済方法)	( ) 万円
(2) 機械・備品・車両など (内訳)	( ) 万円	(5) 自己資金	( ) 万円
(3) 商品仕入れ、経費支払い 資金などの運転資金 (内訳)	( ) 万円	合 計	( ) 万円
合 計	( ) 万円		

1 金融教育のねらいと基本的性格

2 金融教育の目標と方法

3 金融教育を支援する関係機関等の活動

4 金融教育の指導計画の作成と実施に向けて

5 小学校における金融教育

6 中学校における金融教育

7 高等学校における金融教育

資料

1 金融教育のねらいと基本的性格

2 金融教育の目標と方法

3 金融教育を支援する関係機関等の活動

4 金融教育の指導計画の作成と実施に向けて

5 小学校における金融教育

6 中学校における金融教育

7 高等学校における金融教育

資料

1 金融教育のねらいと基本的性格

2 金融教育の目標と方法

3 金融教育を支援する関係機関等の活動

4 金融教育の指導計画の作成と実施に向けて

5 小学校における金融教育

6 中学校における金融教育

7 高等学校における金融教育

資料

< 3 > 求人広告用紙

# 求人広告

3年 組 番 氏名

会社名
キャッチフレーズ (モットー)
給与 (給料)
勤務地 (勤める場所)
募集年齢 (例…〇〇歳以上△△歳程度)
勤務時間 (働く時間、休日)
職種 (働く仕事の内容)
その他の勤務条件 (ボーナスの支給、交通費の支給、研修制度等)

1 金融教育のねらいと基本的性格

2 金融教育の目標と方法

3 金融教育を支援する関係機関等の活動

4 金融教育の指導計画の作成と実施に向けて

5 小学校における金融教育

6 中学校における金融教育

7 高等学校における金融教育

資料

< 4 > ポスターセッション (屋台村方式) のやり方プリント

# 屋台村方式発表会 の進め方

3年 ( ) 組 ( ) 番 氏名 ( )

屋台村形式の発表とは？

発表を聞くにあたり、特に興味や関心をもっている班の発表を選んで聞く形式の発表のことです。やり方は以下の通りです。

1. 発表順

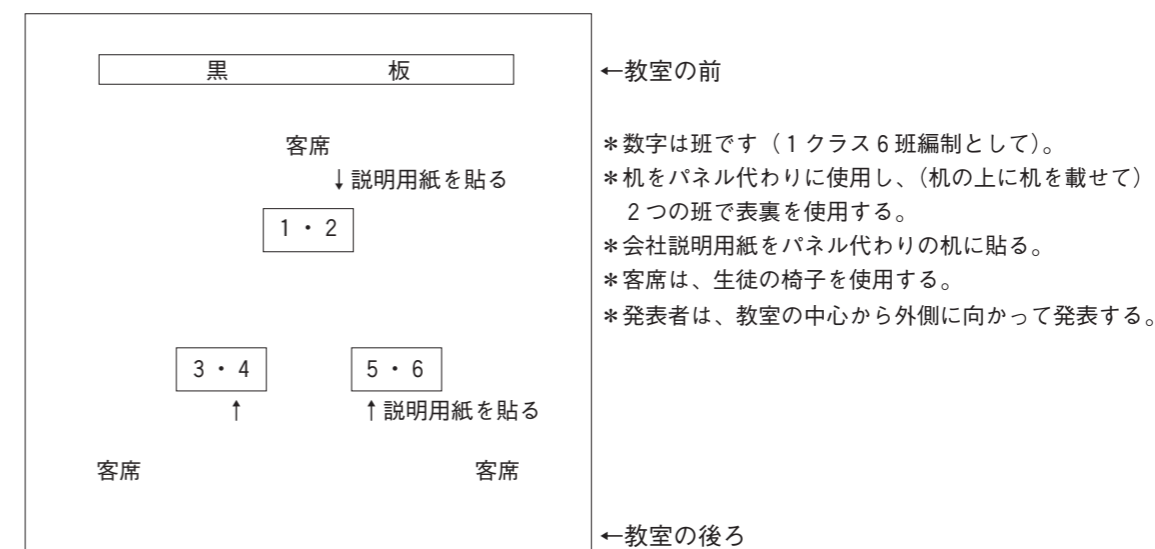
〈例えば〉

- |                    |                      |
|--------------------|----------------------|
| 1) 1回目 発表時間は2分間です。 | 6) 6回目 発表時間は2分間です。   |
| 2) 2回目 発表時間は2分間です。 | 7) 7回目 発表時間は2分間です。   |
| 3) 3回目 発表時間は2分間です。 | 8) 8回目 発表時間は2分間です。   |
| 4) 4回目 発表時間は2分間です。 | 9) 9回目 発表時間は2分間です。   |
| 5) 5回目 発表時間は2分間です。 | 10) 10回目 発表時間は2分間です。 |

2. 当日の流れ

- |                              |     |
|------------------------------|-----|
| (1) 発表の準備                    | 10分 |
| 机の向きを変える、発表用紙等を貼る。           |     |
| (2) 発表                       | 25分 |
| (2分 × 2 + 1分) × 5 =          |     |
| この2分間には、発表の時間と質疑・応答の時間を含みます。 |     |
| (3) 評価                       | 10分 |
| 自己評価、相互評価を行う。                |     |

3. 教室の配置



## &lt; 5 &gt; 屋台村方式発表記録用紙

**屋台村方式発表**記録用紙 (投資家用・求人広告用)

3年 組 番 班 氏名 ( )

\*各屋台の発言を記録し、評価しましょう。

## 1 発表内容など

A=とても良い B=まあまあ良い C=もう少し↓

発表の班名	主 な 発 言 内 容	評価
1回目		
2回目		
3回目		
4回目		

## 2 発表内容に対する疑問点など

## 3 屋台村方式発表で分かったこと

## &lt; 6 &gt; 屋台村方式発表自己評価用紙

**屋台村発表**自己評価カード

3年 組 番 班 氏名 ( )

## 1 屋台村方式発表について、次の観点で自己評価しなさい。

A=大変良くできた B=だいたい良くできた C=不十分だった↓

評 価 項 目	評 価
1) その立場になりきることができましたか。	A B C
2) 発言方法(身振り、早さなど)は良かったですか。	A B C
3) 資料を活用することができましたか。	A B C
4) 調べたことを理解して自分の言葉で説明できましたか。	A B C
5) 時間は有効に使うことができましたか。	A B C
6) 協力して準備することができましたか。	A B C

## 2 次に当てはまる人は誰でしょう。

最も印象に残った発表をした人は誰でしょう。	
-----------------------	--

## 3 屋台村方式発表を終えた感想を書きましょう。